



お互いの意見を聞いて 学習支援ボランティア 【第2回 CS読書会】

5年生が、地域・保護者の皆さんと椋鳩十「さいごのワシ」の本を使ってCS読書会をしました。「ワシは鉄格子にかみついて最後に何と言っただろうか。」というテーマで、グループに分かれて自分の考えを交流した後、全体で交流をしました。

大人は、「自然を、山を、生活を返せ。」「人間の施しは受けない。」と言った意見が多かったのに対し、子どもは「檻を噛みちぎってでも外に出てやろう。」「もう一度空を飛んで狩りをしたい。」と言った意見が多かったです。

大人と子ども、お互いの意見が聞け、充実した読書会になりました。たくさんのご参加ありがとうございました。

＊児童の感想＊



地域のみな様
お忙しい中、読書会に来てくださりありがとうございました。ぼくは、地域の方々と「さいごのワシ」という本について話し合いました。
ぼくたちのグループは、「鉄ごうしをかみちぎってでも出てやろう。」といった考えだったけれど、地域の方々のグループは「ワシのプライド」「自然を荒らすな。」等、ぼくたちが思いつかないような意見がたくさん出ていました。
「さすが大人だな。」と思いました。
ありがとうございました。

＊参加して下さった地域の方からの感想です。ありがとうございました＊

CS読書会に参加して

今回初めて参加させていただきました。大きな声の朗読に加え、電子黒板が使われており、とても理解しやすい読書会でした。

物語は、自然の生態系を壊す人間に対して動物の目線で警告しており、考えさせられる点が多い内容でした。意見交換では、子ども達の前向きで素直な発表内容が印象に残りました。

今回の参加は、地域の方が目立ちましたが、親が増えれば更に盛り上がる読書会になると思います。

次回も楽しみにしています。

